

令和7（2025）年12月17日

## 第4回定例会を終えて（談話）

東京都議会立憲民主党・ミライ会議  
・生活者ネットワーク・無所属の会  
幹事長 竹井ようこ（小平市）

本日、第4回定例会が終了しました。

都議会立憲ミネ無は、知事提出の全議案に賛成し、議員提出議案第14・15号に賛成、第11号から13号に反対しました。

代表質問では、補正予算に盛り込まれた「東京アプリ生活応援事業」について、手続きの余裕がない人や、スマホ・マイナンバーカードを使えない人を除外する可能性がある、都民に迅速に届くのかも疑問だと指摘し、生活応援が届かない人々に対し、関係各局が連携して、必要な措置を早急に講じるべきだと訴えました。

また、補正予算のうち八丈島・青ヶ島の台風復興予算を評価しつつも、事業全般に使える持続化給付金や離島特有の海上輸送費への支援を求めました。

さらに「女性活躍推進条例」について、条例提案を機に、選択的夫婦別姓の導入を政府に働きかけることを求めるとともに、非正規雇用やフリーランスを含めた男女間賃金格差の是正や女性特有の健康課題への対応などを求めました。関連して、生理休暇の名称を変更する条例改正について、委員会質疑を通じて、取得の実態調査や制度の検討、気兼ねなく休暇を取れる職場風土の醸成などを求めました。

他に、夢の島にある第五福竜丸展示館を視察したことを踏まえ、核兵器禁止に向けて、より多くの都民に訴えかける取り組みなどを求めてきました。

一般質問では、銀川ゆい子都議が、女性用トイレの整備を含めた女性活躍や火葬料金など、ひがしゆき都議が、ひとり親支援や共同親権、パートナーシップ制度など、笹岡ゆうこ都議が、介護人材の確保を含めた高齢者施策や就職氷河期などの問題について、それぞれ質問しました。

意見書・決議では「令和8年度税制改正の大綱に関する意見書」及び「固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する決議」について共同提案者になり、賛成しました。

とりわけ「意見書」については、都議会立憲ミネ無としても、12月11日付けの幹事長談話で、断固反対を表明しており、今後、各自治体の仲間と連携し、不当な是正策に反対する行動を強く呼びかけていきたいと考えています。

都議会立憲ミネ無は、引き続き、多様性が尊重され、誰にでも居場所と出番があり、そして誰もが共に生きていくことのできる社会の実現に向けて取り組んでいく所存です。

以上